SSG7 V



Version 1.1.0

Studio Major7th

(C) 2022 Studio Major7th

SSG7V をご利用頂きありがとうございます。 こちらは SSG7V のマニュアルです。

SSG7V は Windows 版 VST3 の 64bit 版です。 32bit 版では動作いたしません。

SSG7V は、商用利用可能です。 しかし、二次配布等は禁じられております。

SSG7V は制作されてまだ日が浅いものです。プロ グラムの経験の浅いものが制作しておりますので、 安定性にはまだ自信を持てておりません。SSG7V を使用、または購入された方は、ソフトの安定性が まだ保証されていないことに同意して使用、または 購入したものとさせていただきます。

ルールを守って楽しい音楽活動にしましょう。

Studio Major7th

インストール方法

同梱の「SSG7V.vst3」を、ご使用の PC の VST3 フォルダにコピーしてください。DAW を立ち上げ ると、VSTi として読み込まれるはずです。

アンインストールする場合は、最初にダウンロードしたファイー式と、「C:¥User¥{ユーザー}¥Documents¥Studio Major7th¥SSG7V」ディレクトリを削除するだけです。

(注意)

ご使用の DAW が、64bit VST3 に対応しているか ご確認ください。

インストールは、VST3のディレクトリにファイ ルをコピーするだけですので、インストールにつ いてはサポート対象外とさせていただきます。

SSG7 V GUI

SSG7V には4つの GUI があります。 1つは「<mark>Main</mark>」。 2つ目は「Setting」。 3つ目は「Amplifier」です。 4つ目は「My Cabinet Setting」です。

Main は最初に表示される画面、Setting は左下 の青いボタンで表示できます。Amplifier は中段 右の青いボタン。My Cabinet Setting は、 Amplifier 画面の下の方の、My Cabinet ボタンの 右の青い S ボタンです。







GUI の設定方法

Main 画面には、SSG7Vの操作に関わるパラメー ターと、演奏している音が目でわかるようにフレ ットボードが配置されています。

Setting 画面では、音の細かい設定ができます。

Amplifier 画面では、演奏される音を歪ませたり、イコライザーをかけたり、加工することができるようになっています。

My Cabinet Setting 画面では、14 個のイコラ イザーを操作して、自分の好みの音を作り上げる ことができます。

これらの設定は、画面左上の、Load Preset と Save Preset で読み込みと保存ができます。

また、Cabinet の設定のみの読み込みと保存も、 My Cabinet Setting 画面でできます。

Main 画面

Main 画面では、上から、Master Volume、 Down Tuning、Fine Tuning、Auto Chop、 Auto Unison Bend、Amplifier、フレットボー ド表示、SoLock、Pickup、キースイッチ表示、 String Noise Volume、PB Down、PB Up、 Vibrato、Vibrato Rate、Slide Arming ボタ ン、最後に Setting 画面へのボタンがあります。

Master Volume は SSG7V の最終的なボリュー ムを調節できます。

Down Tuning は、音源全体のピッチを半音単位 で 7 半音下まで下げることができます。

Fine Tuning は、半音の 100 分の 1 の細かいピッチを調節できます。

Auto Chop は、ON にしておくと、ベロシティに よって自動で Chop 奏法が入力されます。

Auto Unison Bend は、ON にしておくと、キーを2つ同時に押すことで、ユニゾンチョーキングができます。

Amplifier は別画面へ移動し、音の加工を行います。後で説明いたします。

フレットボード表示は、現在選択されているフレットや弦を表示したり、演奏中のフレットをXで 表示します。

SoLock は、ON にすると、ソロサウンドとノイ ズサウンドのキースイッチのみが有効になります。

Pickup は、左に移動するとフロントピックアッ プ、右に移動するとリアピックアップをシミュレ ートします。

キースイッチ表示は、現在選択されているキース イッチ等を表示します。

String Noise Volume は、キーオフ時に鳴るノ イズ音のボリュームを調節します。

PB Down と **Up** はピッチベンド操作の音程を調節します。

Vibrato は、モジュレーションホイールやアフタ ータッチによるビブラート時の音程を調節します。

Vibrato Rate は、ビブラートの速さを調節します。

Slide Arming は、どちらか一方を選択できま す。Slide を選んだ場合はピッチベンドダウン時に 弦をスライドするように、階段状に音程が変化し ます。Arming の場合は滑らかに変化します。

Setting ボタンは、さらに細かい調節をする画面 に移動します。

Setting 画面

Setting 画面は、音を操作する、 Sound Setting、ミュートサウンドのリリースタ イムを調節する Chord Mute Release と Solo Mute Release、音の処理の増減で音のクオリテ ィを操作する Sound Quqlity、同時発音数を設 定する Voice of Group、オルタネイトピッキン グのテンポ AlterNate Picking Tempo、オルタ ネイトピッキングの音符 Alternate Picking Note、があります。

Sound Setting ではオフセットやボリュームを 調節して、音色を操作します。左上の Sound Humanizer は、様々な設定をランダムで動かし ます。右上の Offset Humanizer は、前後に再 生タイミングをランダムにずらします。

Release ノブは、絶対値ではなく、あらかじめ決められているリリースタイムを調節します、1.00を100%とします。

Sound Quality は、値を上げると処理が重くなりますが音色がきれいになります。逆に下げると音色が粗くなります。大きな変化はないので 50のままでよいでしょう。

Voice of Group は、各弦ずつの同時発音数ですが、あまり大きくすると処理速度が追いつかず、 ノイズが発生したり、最悪時にはクラッシュする 場合もあります。小さすぎると同時発音数が足り ずにノイズが発生することがあります。丁度よい 値を探ってみてください。(4~8くらいがお勧め です。)

Alternate Picking Tempo と Note は、この速 さを超えたとき、連続した音符が自動的にオルタ ネイトピッキングになります。おおよその値です ので、BPM200 の 8 分音符でオルタネイトピッキ ングにしたい場合は、テンポを 200 より少し下げ ておくといいでしょう。また、スライダーを一番 左にすると、現在のホストのテンポとなります。

Amplifier 画面

Amplifier 画面は、上から右下へと、音が流れてい きます。

Pre EQ ↓ Distortion and Drive and Clean ↓ Post EQ ↓ Cabinet (14 個の EQ) ↓ Stereo ↓ Delay ↓ Reverb ↓ Volume

このような順で音が加工されます。

Pre EQ では、歪となる Drive を通る前の、クリ ーンなギターサウンドのイコライザーとなりま す。ギターの音作りといえるでしょう。

Distortionは、音を歪ませることができます。

Driveは、さらに大きく音を歪ませることができます。Distortion と組み合わせて使うとよいでしょう。いくつかのタイプが選択できます。

Clean は、クリーントーンです。独立して歪んで いないクリーントーンのボリュームを調整できま す。

Post EQ は、Drive で歪ませた後のイコライザーとなります。

Cabinet は、ON にすると、キャビネットを通し たようなサウンドになります。3 つの種類+自作 の4 つから選択することができます。自作(My Cabinet)は、赤い S ボタンを押すと、詳細画面 に移動します。

Stereoは、ON にすると、音が左右に分かれるので、ダブリングのような効果が生まれます。

Delay は、音が繰り返し、ディレイ効果を得るこ とができます。各ノブの効果は左から、Lのタイ ム、Rのタイム、フィードバック、Wet となって います。LRの下のバーは、ON にすると、LR を リンクさせることができます。

Reverb は、音に響きを得ることができます。各 ノブの効果は左から、部屋のサイズ、広がり、ダ ンプ、Wet となっています。広がりを小さくする ことで、響きがモノラルになり、Cabinet の箱鳴 りのような効果を作ることができます。 Volume は、ここで加工した音のボリュームを調節できます。

2 つの EQ は、スイッチがついており、ON と OFF を切り替えられます。使用しない場合は OFF にす ることで、CPU 使用率を抑えられます。また、 Drive を 0 にすると、Post EQ はスイッチに関係 なく自動的に OFF になります。

Bypass ボタンは、ON にすると黄色になり、この画面で設定した音の加工はすべて無効となり、 クリーントーンに戻ります。外部アンプシミュレ ーターを使用するときは、この Bypass ボタンを ON にしておくことをお勧めします。

My Cabinet Setting 画面

この画面では 14 個のイコライザーを操作できま す。 右に、R ボタンが 3 つ、Freq Random、Oct Random、Gain Random、All Random、 Relative Random チェックがあります。

R ボタンは、それぞれの値をリセットします。(例 えば一番下の R ボタンは、Gain のすべてを 0 に戻 します)

Freq Random は、スライダーの値の範囲で、 Freq の値をランダムに変化させます。Oct Random と Gain Random もそれぞれ Oct と Gain をランダムで変化させます。All Random は、すべてを変化させます。この時、変化の範囲 は、デフォルト値をもとにスライダーの値の範囲 で変化しますが、Relative Random ボタンにチ エックを入れておくと、デフォルト値を基にせ ず、現在の値から相対的に変化していきます。 ランダムで音を調整すると、思わぬ変化があり、 面白い音ができる場合がありますが、極端な音が 生成される場合もありますので、右下の Volume を小さめにしておくことをお勧めします。

この画面の設定のみを、左のボタンで読み込みと 保存ができます。

操作方法

SSG7V の操作は、MIDI キーボードまたは DAW から、**キースイッチを操作**して行います。

キースイッチは、ピアノ鍵盤の最低音である A-1 から G#1 に配置されています。

実際に**音を鳴らすキー**は、**A1 から E7** に配置され ています。

音を鳴らすキーをサウンドキーと呼びます。 サウンドキーを演奏すると、自動でフレットや弦 が選択されるようになっています。もちろん、キ ースイッチを使用して自分で弦を指定することも できます。

Chord 系は 0 から 12 フレット付近まで、Solo 系 は 0 から 24 フレットまで鳴らすことができま す。

キースイッチ

まずは、音色を切り替えるキースイッチから説明 します。

音色は、大きく分けて9種類あります。

音色	キースイッチ
8度 Power Chord	C1
8度 Power Chord Mute	C#1
5度Power Chord	D1
5度Power Chord Mute	D#1
Slide Noise	E1
4度 Power Chord	F1
4度Power Chord Mute	F#1
Solo	G1
Solo Mute	G#1

それぞれで A2 を鳴らすとこのようになります。



ここでいうミュートというのは、ブリッジミュートやパームミュートと呼ばれる奏法のことです。 実際に音を鳴らして確かめてみてください。 Chord と Solo、および Mute にはそれぞれ特徴 があります。それを説明します。

Chord は、ベロシティが大きくなるほど、ピッキ ングノイズが強くなります。

Soloは1~100までは、ベロシティが大きくなる ほど、ピッキングノイズが強くなります。 101~110は、徐々にチョップ奏法が入ってくる ため、アタック感がさらに強くなります。110で チョップが最大になります。111~127にかけて はピッキングハーモニクスが混ざるようになって きます。127で完全なピッキングハーモニクスに なります。

下の図を参考にしてください。

Chord	Solo
ベロシティ 1~127 値が大きいほどピッキングノイズ	111~127 ピッキングハーモニクス
が強い	101~110 徐々にチョップ
	ベロシティ 1~100 値が大きいほどピッキングノイズが強い

キースイッチ E1 には、スライドノイズが割り当 てられています。モジュレーションホイール (CC1)が0のとき、2小節の長さで鳴らされま す。127 でのとき、1 拍となります。実際に演奏 して試してみてください。

Chord を選択時は、モジュレーションホイールを 操作することで、ストロークスピードをコントロ ールできます。 次に、**B-1~B0のキースイッチ**を説明します。 これらは、弦を選択するキースイッチです。

まず、**CO~BO に順番に、1 弦~7 弦**が割り当て られています。例えば、EO を押すと、次に演奏さ れる音は、3 弦になります。その音が 3 弦で演奏 できない場合は、その弦に近い弦で演奏されま す。

これらのキースイッチと**同時に B-1**を押すと、**弦を固定**できます。例えば G0 と B-1 を同時に押すと、解除されるまで、優先的に 5 弦で演奏されます。弦固定の解除は、もう一度弦選択キーを押すか、B-1 を押すことで可能です。

他にもキースイッチがあります。

C#0は、Noise OFF スイッチで、このキーを押している間は、サウンドキーをオフにしたときに 鳴る、ノイズサウンドが鳴らなくなります。

A#1は、ベロシティ 64~127 で押したとき、押 している間は、Solo ミュートサウンドが全てダウ ンピッキングになります。ベロシティ 1~63 で押 している間は、全てアップピッキングになりま す。通常時は、ダウンピッキングから始まり、 Alternate Picking で設定された値を超えて音符 が連続すると、ダウンピッキングとアップピッキ ングが交互に繰り返されます。 **A#-1**は、スライドスイッチです。このキーを押した状態で、サウンドキーを重ねて配置すると、2つの音がスライドされます。後から重ねる音のベロシティによってスライドの速さを調節できます。スライドキーを放すと、スライドが中断しますので、スライド後も音を鳴らしたい場合は、スライドキーを押したままに配置してください。

A-1 は、強制停止スイッチです。何らかの原因 で、音が鳴りっぱなしになった場合に、このキー を押すと、音を止めることができる場合がありま す。どうしても止まらない場合は、音が消えるま で待つか、プラグインを立ち上げなおしてください。

ユニゾンチョーキング

Solo サウンドで、高いほうの音が1弦、または2 弦の場合に、半音を同時に押すことで、高いほう の音でユニゾンチョーキングができます。この 時、自動で下の音がチョーキングされます。 通常時は、ベンドは、指定した値でベンディング できますが、ユニゾンチョーキング時は、Upが 1、Down が2に設定され、ベンドでも下の音に チョーキング効果を追加できます。また、モジュ レーションホイール(CC1)でも下向きに半音で ビブラートがかけられます。同じように、短3度 と長3度の八ーモナイズドチョーキング</u>にも対応 しています。

ユニゾンチョーキングを使うには、Auto Unison Bend ボタンが ON になってないといけません。

レガート

滑らかに2つの音を繋げるのが、レガート奏法で す。方法は2つあり、ひとつは、音色選択のキー スイッチ(C1~G#1)を押した状態でサウンドキ ーを重ねて配置することです。もうひとつは、キ ースイッチの代わりに、サスティンペダルをON の状態で2つの音を重ねて配置することです。ど ちらも効果は同じですが、サスティンペダルの効 果がありますので、若干違いがあります。

(1)









上の二つは、どちらも、レガートではありません。しかし、(2) はサスティンペダルが ON になっているので、音が普通につながって聞こえます。そして、ピアノのように音は重ならず、次の音が鳴ると、前の音は止まります。



(3)の例では、サスティンペダル、またはキー スイッチが ON の状態なので、音が重なって配置 された状態で、レガートとなります。

SSG7V ではレガートを優先していますので、アル ペジオは前提とされていません。ピアノのように 音を重ねながら演奏したい場合は、サスティンペ ダルを ON にすると、音が逆に重ならなくなるの で注意しましょう。

ブラッシング

SSG7V には簡単なブラッシング演奏が可能です。 8 度パワーコードミュート(C#1)の F6~A#6 に配置されています。



上の図のようになっています。

チョップ

ソロ(G1)のF6~E7にチョップが配置されてい ます。F6、G6、A6は7フレット、12フレッ ト、15フレット付近の3弦に到達するチョップ、 F#6、G#6、A#6は同じように2弦に到達する チョップ、C7、D7、E7は1弦に到達するチョッ プです。Auto ChopをONにしておくと、7フレ ット以上で3弦より高い弦に到達するとき、ベロ シティが101~110でチョップが自動的に入力さ れます。

バージョン 1.1.0 の新機能

メイン画面の SoLock ボタンの横に、新しく Chord Mode ボタンが配置されました。 このボタンを押すか、キーボードの G-1 をベロシ ティ 63 以下で入力すると、コードモードになり ます。通常のモードに戻す場合はボタンをもうー 度押すか、G-1 をベロシティ 64 以上で入力しま す。



コードモードは上に様な画面になります。 右の大きな白い枠に、現在のコードが表示されま す。最初は何も選択されていないので「No」が表 示されます。

Chord Mode

コードモードはキーボードに大きくわけて3つの入力種類があります。
まず、フレットやコードタイプの選択キーです。
B-1からB0を使用します。
次に、コードを入力するキーです。C1からD3を使用します。コードは3音以上で基本形でなければなりません。
最後に、E3からA5にギターのストロークにあたる、実際に演奏をするキーが配置されています。
演奏の停止と、コードの演奏と、各弦の演奏に分

かれています。

フレット選択キー

B-1 から B0 でフレットやコードタイプを選択します。

B-1は通常時と同じで、その選択を固定します。 再度押すことで解除できます。

C0、C#0、D0、D#0、E0の5つは、低いほう から、0フレット、2フレット、5フレット、8フ レット、11フレットに設定されており、抑えるフ レットの中で低いフレットがその付近で演奏され るようになっています。ただし、B-1を同時押し して固定していなければ、コード進行によって、 自動にフレットが選ばれていきますので、ずっと 0フレット付近というわけにはいきません。ずっ と0フレット付近で演奏させたい場合は、B-1と C0を同時押しして、フレット選択を固定させてお きましょう。

F0、G0、A0、B0は、コードの形からコードを 選択します。SSG7Vでは4種類のコードの形を基 本にしています。それぞれが、コードタイプ1、 2、3、4として、選択できます。ただし、形だ けで選択すると、突然大きくフレットが移動する 場合があります。画面を見ながら納得のいくよう 操作してください。

コード入力キー

C1 から D3 で、コードを入力できます。 コードは、C で例えると、メジャーとマイナー、 オーグメントとディミニッシュ、sus4、6th、 7th、9th、-5、-9、+9 などがあります。 3 音以上を同時押しすることで正しく認識しま す。基本形でなければならず、転回形は、他のコ ードとして認識するでしょう。

演奏キー

E3 から A5 で、実際に音を鳴らします。 このモードでは、音程を演奏するのではなく、選 択されたコードに対してキーボードの入力でスト ロークをする形で演奏します。

E3 と B4 は鳴っている音を停止させるキーです。

F3 と F#3は低音弦を重視したストロークです。 ベロシティを強くすると全弦演奏されますが、弱 くすると低い弦だけしか演奏されません。F3 がダ ウンストロークで、F#3 がアップストロークで す。

G3 と G#3は高音弦を重視したストロークで す。ベロシティを強くしても演奏されるのは4弦 から1弦までです。弱くすると低い弦だけしか演 奏されません。G3 がダウンストロークで、G#3 がアップストロークです。

A3 と A# 3 は中域弦を重視したストロークです。 ベロシティを強くすると全弦演奏されますが、弱 くすると中央の弦しかなりません。A3 がダウンス トロークで、A#3 がアップストロークです。

B3はその時のコードの最低弦を演奏します。

C4 と C#4 はベロシティに関係なく全弦を演奏し ベロシティは音の強弱のみとなります。 D4 と D#4 は最低弦のブリッジミュートとなります。

F4 から A#4 は F3 から A#3 と同じで、低域、 高域、中域と分けられています。ただし、サウン ドがミュートとなります。カッティングの時など に使用できます。

C5 から A5 はその時選択されたコードの弦をそれ ぞれ演奏することができます。C5 が 6 弦で、A5 が 1 弦です。自由なアルペジオなどに使用できま す。

ストロークは、モジュレーションホイールの値を 上げると、スピードが落ち、遅いストロークとな ります。

コードのルートが半音で上行、下行するとき、コ ードはできるだけ同じタイプで半音移動しようと します。

FAQ

音にノイズが入ります。 ↓

SSG7V はサンプルを使用しないので、CPU の力 を必要とします。お使いの PC の能力が追いつい ていないとき、音にノイズが入ります。**Sound Quality** スライダーを下げても直らない場合は、 申し訳ありませんが、お使いの PC では使用でき ないと思われます。

コードを選択しましたが鳴らない弦があります。 ↓

コードタイプ1は6弦、タイプ2は4弦、タイプ 3と4は5弦を使用する形となっており、6弦と 5弦を使用しない形があります。その時は演奏し ようとしてもその弦は鳴りません。 SSG7V は 2022 年に Studio Major7th により制 作されました。

(C) 2022 Studio Major7th